

飛躍



一人一人が輝く



校訓：礼儀 勉学 勤労

令和7年4月15日(火)
旭が丘中学校だより 第1号

【自ら学び 共に歩み 未来を拓く生徒】

文責：教頭（加藤）

桜の花が咲き誇る美しい季節、令和7年度のスタートを迎えました。本校にて4月7日（月）に入学式と始業式を実施しました。84名の新生を迎え、総勢221名で旭が丘中がスタートしました。始業式では、新2年生と新3年生の代表生徒（青木さん、高木さん）が新年度の抱負を述べ、力強い決意を感じさせる素晴らしい内容でした。



昨年度は、多くの地域の方に授業支援にいただいたり、保護者の皆様にさまざまな学校行事に御協力いただいたりして、充実した教育活動を推進することができました。今年度は、さらにコミュニティ・社会に開かれた教育課程と、地域とともにある学校を目指し、「自ら学び共に歩み 未来を拓く生徒」を育てていきたいと思えます。そして、安心・安全な学校を目指します。保護者の皆様、地域の皆様、今年度も旭が丘中学校をよろしく願いいたします。



始業式「校長式辞」

今日から、いよいよ令和7年度がスタートします。旭が丘に春がやってきて、桜の花がきれいに咲き、今日のスタートを心待ちしていました。皆さんも、春らしい穏やかな気候に心を和ませるとともに、新しい1年のスタートに不安と期待や希望で胸を膨らませているのではないのでしょうか。



平野文隆 校長

今日の午後、84名の1年生が入学し、旭が丘中学校は、全校生徒が221人になります。1年生の良きお手本となるよう、先輩として旭が丘中学校の伝統を守り、また新たな校風づくりに邁進してほしいと思えます。

それぞれ上級生に進級した皆さんは、決意を新たに、今日の始業式に臨んでいることと思います。先ほどは、2人の代表生徒の本年度のスタートにふさわしい、力強い決意、抱負の発表がありました。青木愛莉（あおきあいり）さん、高木維真（たかぎゆいま）さん、素晴らしかった発表でした。ありがとうございました。皆さんも、是非、今の新鮮なワクワクした気持ちを忘れず、それぞれの目標に向かって、途中であきらめることなく挑戦して欲しいと思えます。

新しい年度の始まりとして、「旭中文化」について改めて確認しておきましょう。

「旭中文化」は「3つの柱」と「2つの学校自慢」です。毎日の生活の中に根付かせたい「3つの柱」は、「あいさつ」「学習訓」「清掃」です。

元気にさわやかに「あなたのことを大切に思っています」という気持ちを込めて、自分から進んであいさつを交わしていきましょう。

話は耳だけでなく、話し手に目と心を向けて聞きましょう。

清掃は黙動で、学校がもっときれいになることを追求しながら実践しましょう。そのような清掃によって、必ずあなたの心も磨かれていきます。

「学校自慢」として学校内外に発信したい2つは、「歌声」「ボランティア」です。飛躍祭での歌声と共に、式などの歌声も楽しみにしています。

旭中はコミュニティ・スクールとして、地域の皆さんに様々なボランティアをお願いしています。花を育ててもらったり草刈をしてもらったり、着付けも習いました。地域に開かれた学校を目指しています。生徒の皆さんには、できる人が、できることを、できるときに、それぞれの地域でボランティア活動などを実践していきましょう。

今年度も「旭中文化」をしっかり意識して授業や行事、部活動に存分に取り組み、皆さん一人一人も、集団としても、大きく飛躍する1年になることを願っています。

さて、皆さんは松下幸之助という人を知っているでしょうか。日本の有名な実業家で、松下電器、現在のパナソニックホールディングスを一代で築き上げた人です。この松下幸之助さんが、「『なぜ』と問うてみる」と言っていました。「日に新たであるためには（日々新たな歩みを進め、成長していくためには）、いつも「なぜ」と問わねばならぬ。

そしてその答を、自分でも考え、また他にも教えを求めます。素直で私心なく、熱心で一生懸命ならば、「なぜ」と問うタネは随所にある。それを見失って、きょうはきのうの如く、あすもきょうの如く、十年一日の如き形式に墮したとき、その人の進歩はとまる。社会の進歩もとまる。繁栄は「なぜ」と問うところから生まれてくるのである」と。

今年度の学校教育目標は、「自ら学び 共に歩み 未来を拓く 生徒」の育成です。「主体的に粘り強く取り組み、自ら判断して行動できるように」、「仲間と協力して高め合い、新しいものを創り出せるように」、そして、「自らが決めたそれぞれの道で、急速に変化する社会の中で、未来を切り拓いていける力」を蓄えていきましょう。

そして、サブ目標は「我がことに問い、しなやかに挑む生徒の育成」です。進歩を止めることなく、我がこととして常に「なぜ」と問いをもち、困難に負けず粘り強く取り組み、よりよく成長しながら未来を切り拓いていってほしいと願います。

まず、1学期は「展望」ステージです。我がことに問うてみて、この1年を見通し、具体的な展望をもってください。「安心・安全」。病気や事故に気をつけ、充実した1年になることを期待して1学期始業式の式辞とします。

【84名の新入生が入学しました】

7日(月)、満開の桜に迎えられ84名の新1年生が、入学式を迎えました。今年度より新しくなった制服に身を包み、緊張感漂う中にも、「よし、頑張ろう!」という意欲が感じられました。新入生代表として誓いの言葉を述べた大石さん、一木さんは、目標をもって頑張る決意を立派に述べていました。



【素敵な出会いの中、新生旭が丘中スタートです】



8日(火)に対面式が行われました。新1年生と在校生の出会いの場です。生徒会長による歓迎の言葉、生徒会活動の説明が行われました。そのあと、レクリエーションの「じゃんけん列車」で全校生徒が交流しました。最後は、全校で1つの大きな輪を完成させることができました。穏やかで笑顔あふれるとても素敵な会になりました。

【旭が丘中学校職員を紹介します。よろしくお願いします。】

| | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|----------|--------|------------|--------|------|----------------|-------|
| 校長 | 平野文隆 | 1年主任 | 金子裕史 | 2年主任 | 久我 大 | 3年主任 | 谷口大士 | 講師(技術) | 杉浦三三夫 |
| 教頭 | 加藤美保 | 1-1 担任 | 恩田琢也 | 2-1 担任 | 鈴木崇志 | 3-1 担任 | 菊地弘明 | 講師(家庭) | 加藤朋美 |
| 教務主任 | 間瀬彰浩 | 1-2 担任 | 押方 歩 | 2-2 担任 | 小出芽依 | 3-2 担任 | 鈴木一馬 | 講師(美術・CS 推進員) | 松村いずみ |
| 生徒指導主事 | 川上憲吾 | 1-3担任 | 笹山航基 | 2年学年付 | 川上憲吾 | 3-3担任 | 石貝孝洋 | 教育支援 | 鈴木奈緒子 |
| 養護教諭 | 松浦知佐子 | 事務主事 | 大石充洋 | 4組担任 | 鈴木雅弘 | 5組担任 | 老川寿信 | スクール・サポート・スタッフ | 内藤光雄 |
| 用務員 | 鈴木圭子 | ALT | ピエール・アラト | ALT | オグスタフ・ワグネル | 配膳員 | 松下澄子 | | |

<部活動顧問>

| | |
|------------|-----------|
| 野球 | 菊地弘明・谷口大士 |
| 男子ソフトテニス | 久我 大・笹山航基 |
| 女子ソフトテニス | 恩田琢也・金子裕史 |
| 男子バスケットボール | 鈴木崇志・鈴木一馬 |
| 陸上競技 | 石貝孝洋・押方 歩 |
| バレーボール | 小出芽依・川上憲吾 |
| 吹奏楽 | 老川寿信・間瀬彰浩 |
| 総合文化 | 鈴木雅弘・間瀬彰浩 |

